

審議事項①

令和3年度事業年度評価（業務実績報告書）について

公立大学法人青森公立大学の令和3年度事業年度評価（業務実績報告書）は、別紙に定めるところによる。

第1 全体評価：順調 【大項目：7件】すべて4(順調な進捗) 【小項目：132件】A評価：9件 B評価：123件 ※R2年度【148件【A評価：3件 B評価：145件】】
 令和3年度の年度計画に対する業務実績は、以下に示すとおりであり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、実施が困難であった業務等はあるものの、可能な限り代替手段を講じ実施した。教育、研究、地域貢献及びその他の業務のいずれについても、中期計画の進捗は順調であることから、全体としても順調であると評価する。

第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置(P19~P31)

1 教育に関する目標を達成するための措置(P19~P27)

【大項目評価：4(順調な進捗)】 年度計画：達成

<主な取組>

- ・教育理念等や3つのポリシーに基づき、コロナ禍においても対面授業を基本としつつ、必要に応じて遠隔授業等も実施する適切な授業運営や学生から教員に対する授業評価による教育プログラム等の検証・改善
- ・学部及び大学院単位でのFD研修、コロナ禍におけるICTを活用した教育機会や環境の確保
- ・学士課程におけるオープンキャンパスをはじめとした積極的な県内外への高校訪問やオンラインも活用した出張講義等の実施、データ分析を基にした戦略的なWebDM発送などによる志願者の確保
- ・博士課程における学内外での大学院入学者選抜説明会の実施や県内企業等へのトップセールスの実施、Webツールも活用した入学相談体制の強化による志願者の確保
- ・授業料減免制度や奨学金の情報提供、学生相談室の新規開設
- ・キャリアセンターを軸としたWebツールも積極的に活用した相談・面接練習や企業連携推進員等による求人開拓、県内企業バズアワーや各種ガイダンスの実施などによる全国平均を上回る就職率の維持

【小項目評価：54件【A評価：7件 B評価：47件】】 ※R2年度【57件【A評価：2件 B評価：55件】】

<A評価>

- ①「学生の能動的な修学環境の拡充を図るため、アクティブラーニング室を増設する」(P20 No.11)
→アクティブラーニング室を増設し、前年度の利用実績及び増加数を上回る436コマ(対前年比+57コマ)の利用
- ②・③「ICTを活用したリモート留学(ワイカト大学)及びeラーニングを実施する」(P20 No.13/P21 No.22(再掲))
→eラーニングの実施をはじめ、ワイカト大学に加えて、スターリング大学とのリモート留学の実施
- ④「一般選抜において、定員の3倍程度の志願者を確保する」(P22 No.27)
→140名の募集定員に対して560名の志願者となり、4倍の志願者を確保(数値目標の110%以上)
- ⑤「(学士課程)アドミッション・ポリシーに適合する学生を確保するため、国の入試改革に合わせて変更した選抜の変更点について、必要に応じて検証を行う」(P23 No.31)
→選抜実施の変更点の検証及び高校関係者との懇談会での情報交換等を踏まえ、総合型選抜I期及び学校推薦型選抜における小論文出題概要のホームページへの公表
- ⑥「(博士課程)遠方からの入学志願者やコロナ禍における対応として、オンライン等での進学相談を実施する」(P24 No.35)
→電話やメール等も活用しながら随時進学相談を実施し、電話相談の1件が志願・入学
- ⑦「コロナ禍において県外を就職活動の拠点とする学生にも対応できるように、Webツールを活用して相談業務を行う」(P25 No.45)
→Webツールを活用して、対面の相談件数・面接練習の5割程度となる件数をオンラインで実施

2 研究に関する目標を達成するための措置(P28~P31)

【大項目評価：4(順調な進捗)】 年度計画：達成

<主な取組>

- ・個人研究費や戦略的研究助成事業による研究費の配分や地域連携センタープロジェクト事業・海外研究者との研究推進
- ・研究成果のホームページ・学術リポジトリ・論纂・公開講座・マスメディア等での積極的な情報発信
- ・研究活動のための交通手段の確保、連携協定団体や企業からの事業及び研究受託、各種産官学金連携への参画

【小項目評価：13件【B評価：13件】】 ※R2年度【11件【B評価：11件】】

第3 地域貢献に関する目標を達成するための措置(P32~P36)

【大項目評価：4(順調な進捗)】 年度計画：達成

<主な取組>

- ・各種地域連携活動として、青森まるっとよいどころ祭りや青森市産官学連携プラットフォームへの参画
- ・教員等の各種行政機関(青森県・青森市・県内自治体等)の審議会委員等への就任
- ・ホームページや公開講座・まちなかラボでの研究成果等の情報発信
- ・21あおり産業総合支援センターと連携した「創業・企業セミナー」の開催
- ・青森市ビジネスアイデアコンテスト(オーディエンス賞受賞)や「青森リモートワーク人材誘致研究会」への積極的な参画

【小項目評価：18件【B評価：18件】】 ※R2年度【37件【B評価：37件】】

第4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置(P37・P38)

【大項目評価：4(順調な進捗)】 年度計画：達成

<主な取組>

- ・法人経営と教学全般を包括する戦略会議の定期的な開催や審議会等の委員等からの意見聴取・意見交換会の実施
- ・大学設置基準に定められた教員職員数を確保するための積極的な採用活動
- ・事務職員の人事評価の本格実施による給与・昇任等への反映、教員職員の人事評価の試行(2回目)の実施
- ・事務等の効率化・合理化の検証・見直しの実施

【小項目評価：12件【B評価：12件】】 ※R2年度【14件【A評価：1件 B評価：13件】】

第5 経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置(P39~P41)

【大項目評価：4(順調な進捗)】 年度計画：達成

<主な取組>

- ・検定料収入や研究関連収入・その他の外部資金の積極的な獲得活動
- ・事業の見直し等によるスクラップアンドビルドによる経費の抑制や適切な資産運用
- ・内部統制規程に基づく各種監査の実施、教職員の法令遵守に対する意識向上の促進

【小項目評価：14件【B評価：14件】】 ※R2年度【8件【B評価：8件】】

第6 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置(P42・P43)

【大項目評価：4(順調な進捗)】 年度計画：達成

<主な取組>

- ・中期計画や年度計画の定期的な進捗管理や業務実績等に係る第三者機関による外部評価の実施
- ・外部評価結果の大学運営への反映及びPDCAサイクルによる継続的な改善
- ・個人情報の保護に留意した法人情報等のホームページでの公表

【小項目評価：5件【B評価：5件】】 ※R2年度【4件【B評価：4件】】

第7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置(P44~P47)

【大項目評価：4(順調な進捗)】 年度計画：達成

<主な取組>

- ・インフラ長寿命化計画に基づき、各種施設・設備の効果的な修繕や図書館における書籍用除菌ボックスの設置等の良好な学修環境や教育研究活動を確保するための環境整備の実施
- ・消防訓練等による防災・危機管理体制の強化、健康診断やストレスチェックによる健康保持の増進、保有個人情報の適正な管理
- ・新型コロナウイルス感染症に係る危機管理対策本部による必要な対策の実施及び青森商工会議所主催による新型コロナワクチン職域接種への学生・教職員の参加支援、学生・教職員に対する人権侵害の防止や相談体制の強化

【小項目評価：16件【A評価：2件 B評価：14件】】 ※R2年度【17件【B評価：17件】】

<A評価>

- ①「感染症情報を随時収集し、学生、教職員へ周知するとともに、必要に応じて学内会議等で対策を検討し、必要な対策を講じる」(P46 No.128) 及び
- ②「新型コロナウイルス感染症への対処が終了するまで、危機管理対策本部による対応を継続する」(P46 No.129)
→県や市の情報収集を基に、新型コロナウイルス感染症に係る危機管理対策本部会議等において、本学の対応を決定し、学生、教職員への情報提供、各種対策の適切な実施(イベント等の中止・延期、施設等の休館・使用中止、必要に応じた対面授業と同等の授業のオンライン等で提供等)をはじめ、青森商工会議所主催による職域接種への参加支援等を実施した結果、本学においてはクラスターは発生しておらず、また原則としていた対面授業で春学期・秋学期を滞りなく実施

■小項目別評価の評価区分

S評価:年度計画をはるかに上回って実施している A評価:年度計画を上回って実施している B評価:年度計画をおおむね実施している C評価:年度計画を十分には実施していない D評価:年度計画を実施していない

■大項目別評価の項目

5:特筆すべき進捗 4:順調な進捗(小項目別評価がすべてS、A又はBである場合) 3:おおむね順調な進捗(小項目別評価におけるS、A又はBの割合が9割以上) 2:進捗がやや遅れている(小項目別評価におけるS、A又はBの割合が9割未満) 1:進捗が著しく遅れており、重大な改善事項がある

※公立大学法人青森公立大学事業年度評価実施要領から抜粋(R4.3.24改正 青森市地方独立行政法人評価委員会)